

よくわかる 初心者のための Excel 2013

Windows 8.1 用補足資料

「よくわかる 初心者のための Excel 2013」(型番:FPT1302)は、Windows 8 環境で Excel 2013 を学習する場合の操作手順を掲載しています。Windows 8.1 環境で学習する場合の操作手順の違いについては、次のとおりです。

頁	章	見出し	学習時の注意事項
P.5	本書をご利用いただく前に	6 添付「データ CD-ROM」について	「◆コピー内容の一覧」の操作手順③を、次の手順に置き換えて操作してください。 《PC》が表示されます。 ③《ドキュメント》をダブルクリックします。
P.6	本書をご利用いただく前に	6 添付「データ CD-ROM」について	「STEP UP セットアッププログラムが起動しない場合」の操作手順③は、Windows 8.1 では必要ありません。
P.11	第 1 章 Excel の基礎知識	STEP2 Excel を起動する	「1 Excel の起動」の操作手順①～②を、次の手順に置き換えて操作してください。 ①Windows 8.1 のスタート画面の  をクリックします。 ※  が表示されていない場合は、マウスを動かします。
P.13	第 1 章 Excel の基礎知識	STEP3 ブックを開く	「1 ブックを開く」の操作手順④を、次の手順に置き換えて操作してください。 ④《ドキュメント》をクリックします。
P.27	第 2 章 データの入力	STEP1 新しいブックを作成する	「1 新しいブックの作成」の操作手順①を、次の手順に置き換えて操作してください。 ①Excel を起動し、Excel のスタート画面を表示します。 ※Windows 8.1 のスタート画面の  をクリック→《Excel 2013》をクリックします。
P.46	第 2 章 データの入力	STEP5 ブックを保存する	「1 名前を付けて保存」の操作手順⑤を、次の手順に置き換えて操作してください。 ⑤《ドキュメント》をクリックします。
P.130 ～157	付録 1 Windows 8 の基礎知識		別紙で「Windows 8.1 の基礎知識」を用意しています。

以上

初心者シリーズ Windows 8.1の 基礎知識

【対応書籍】

初心者のための Microsoft Excel 2013

(型番：FPT1302)

初心者のための Microsoft Word 2013

(型番：FPT1303)

初心者のための Microsoft PowerPoint 2013

(型番：FPT1313)

STEP1	Windowsの概要	2
STEP2	マウス操作とタッチ操作	3
STEP3	Windows 8.1を起動する	5
STEP4	Windows 8.1の画面構成	6
STEP5	Windows 8.1のアプリ	9
STEP6	Windowsストアアプリを操作する	11
STEP7	デスクトップアプリを操作する	17
STEP8	Windows 8.1を終了する	28

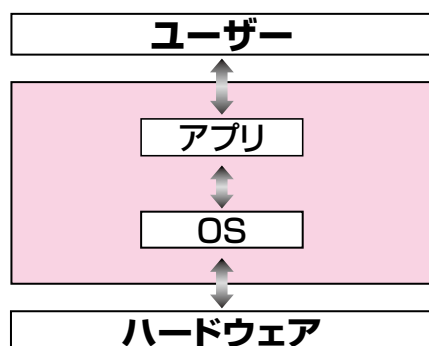
STEP 1

Windowsの概要

1 Windowsとは

「Windows」はマイクロソフトが開発した「OS (Operating System)」です。OSは、パソコンを動かすための基本的な機能を提供するソフトウェアで、ハードウェアとアプリの間を取り持つ役割を果たします。

OSにはいくつかの種類がありますが、市販のパソコンのOSとしてはマイクロソフトのWindowsが最も普及しています。



2 Windows 8.1とは

Windowsは、時代とともに「Windows 3.1」「Windows 95」「Windows 98」「Windows Me」「Windows XP」「Windows Vista」「Windows 7」「Windows 8」などが提供され、「Windows 8.1」は2013年10月にWindows 8がバージョンアップされた最新の製品になります。



POINT ▶▶▶

ハードウェアとソフトウェア

「ハードウェア」とは、パソコン本体やディスプレイ、キーボード、プリンターなどの各装置のことです。「ソフトウェア」とは、OSやアプリなど、パソコンを動かすためのプログラムのことです。

アプリ

「アプリ」とは、ワープロソフトや表計算ソフトなどのように、特定の目的を果たすソフトウェアのことです。「アプリケーションソフト」や「アプリケーション」ともいいます。

マウス操作

パソコンは、主にマウスを使って操作します。マウスは、左ボタンに人さし指を、右ボタンに中指をのせて軽く握ります。机の上などの平らな場所でマウスを動かすと、画面上の（マウスポインター）が動きます。

マウスの基本的な操作方法を覚えましょう。

●ポイント

マウスポインターを操作したい場所に合わせます。



●クリック

マウスの左ボタンを1回押します。



●右クリック

マウスの右ボタンを1回押します。



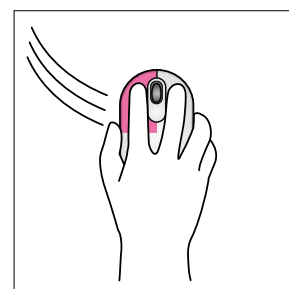
●ダブルクリック

マウスの左ボタンを続けて2回押します。



●ドラッグ

マウスの左ボタンを押したまま、マウスを動かします。





POINT ▶▶▶

マウスを動かすコツ

マウスを上手に動かすコツは、次のとおりです。

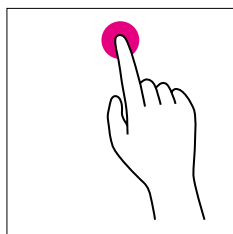
- マウスをディスプレイに対して垂直に置きます。
- マウスが机から出しまったり物にぶつかったりして、動かせなくなった場合には、いったんマウスを持ち上げて動かせる場所に戻します。マウスを持ち上げている間、画面上のマウスポインターは動きません。

❖ 2 タッチ操作

パソコンに接続されているディスプレイがタッチ機能に対応している場合には、マウスの代わりに、タッチで操作することも可能です。画面に表示されているアイコンや文字に指で触れるだけで、パソコンにやりたいことを伝えることができ、マウス操作が苦手な人にとって、とても手軽な入力方法といえます。タッチの基本的な操作方法を覚えましょう。

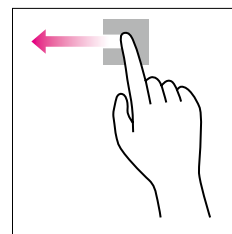
●タップ

画面を軽く押します。
項目の選択や決定に使います。



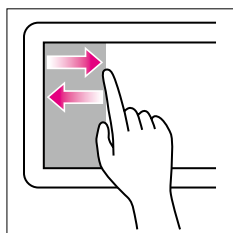
●ドラッグ

画面の項目に指を触れたまま、目的の方向に長く動かします。
項目の移動などに使います。



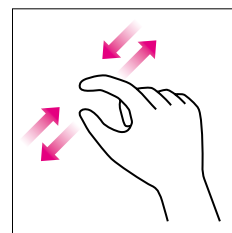
●スワイプ

画面に指を触れたまま、端から内側に、または内側から端に短く動かします。
バーの表示などに使います。



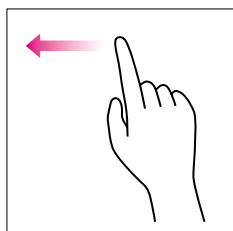
●ズーム

2本の指を使って、指と指の間を広げたり(ピンチアウト)、狭めたり(ピンチイン)します。
画面の拡大・縮小などに使います。



●スライド

画面に指を触れたまま、目的の方向に長く動かします。
画面のスクロールなどに使います。



STEP 3

Windows 8.1を起動する

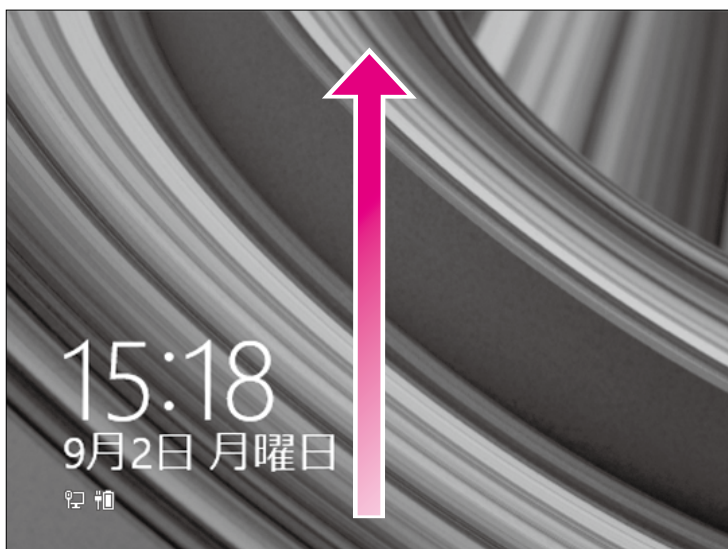


1

Windows 8.1の起動

パソコンの電源を入れて、Windowsを操作可能な状態にすることを「起動」といいます。

Windows 8.1を起動しましょう。



① 本体の電源ボタンを押して、パソコンに電源を入れます。

ロック画面が表示されます。

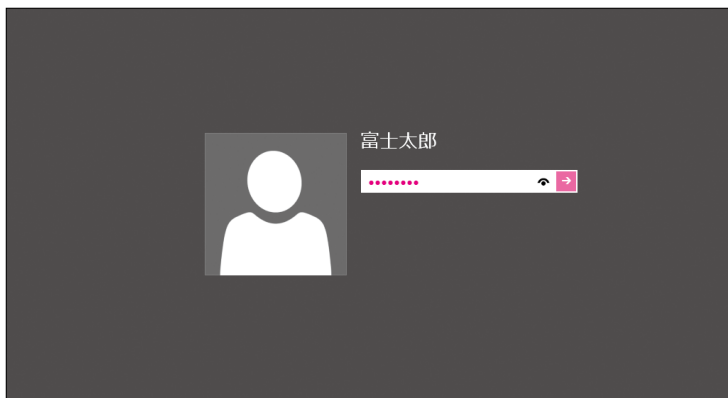
※ユーザーにパスワードが設定されていない場合、この画面は表示されません。

②  クリックします。

※  は、マウス操作を表します。

 画面を下端から上端にスライドします。

※  は、タッチ操作を表します。



パスワード入力画面が表示されます。

※ユーザーにパスワードが設定されていない場合、この画面は表示されません。

③ パスワードを入力します。

④  → をクリックします。

 → をタップします。



スタート画面が表示されます。



POINT ▶▶▶

ユーザー選択画面

1台のパソコンに複数のユーザーを登録している場合、パスワード入力画面に  (ユーザーの切り替え)が表示されます。

 (ユーザーの切り替え)をクリックすると、ユーザーを選択する画面が表示されます。この画面が表示されたら、これから操作するユーザーを選択します。

1 Windows 8.1のスタート画面

Windows 8.1が起動すると表示される画面を「スタート画面」といいます。
Windows 8.1のスタート画面を確認しましょう。



① タイル

よく使うアプリがタイル状のアイコンとして登録されています。クリックすると、アプリが起動します。

タイルには、天気やニュースなどの最新の情報が表示されるものがあります。

② ユーザー名

現在パソコンを使用しているユーザーの名前が表示されます。クリックすると、ほかのユーザーに切り替えたり、画面をロックしてほかのユーザーが操作できないようにしたりできます。

③ アプリの表示

クリックすると、パソコンに入っているアプリの一覧を表示します。

④ スクロールバー

スタート画面上にすべてのタイルが表示されていない場合に表示されます。

➤ をクリックすると、画面の右側に隠れている情報を表示します。

➤ をクリックすると、画面の左側に隠れている情報を表示します。

2 チャームバーの表示

「チャームバー」とは、画面の右上隅または右下隅をポイントしたり、画面の右端から左方向にスワイプしたりすると表示されるバーのことです。チャームバーは、画面の右端に表示されます。チャームバーを使うと、パソコン内のファイルを検索したり、パソコンの設定を変更したりできます。Windowsの終了も、チャームバーから操作します。

チャームバーの各部の名称と役割は、次のとおりです。



①検索

キーワードを入力して、パソコン内のファイルやアプリ、機能などを検索できます。

②共有

ほかのユーザーと情報を共有できます。例えば、ホームページ閲覧中にこのコマンドを選択すると、メールでホームページのURL(アドレス)を送信できます。

③スタート

スタート画面を表示します。

④デバイス

接続されているプリンターやプロジェクターが表示されます。アプリから印刷したり、画面を出力したりできます。

⑤設定

パソコンの設定を変更したり、Windowsを終了したりできます。

3 アプリバーの表示

「アプリバー」とは、画面を右クリックしたり、画面の下端から上方向にスワイプしたりすると表示されるバーのことです。アプリバーは、画面の上側または下側に表示されます。アプリバーは、起動しているアプリによって、表示される内容が異なります。

●スタート画面のアプリバー



—アプリバー

●天気画面のアプリバー



—アプリバー

1 Windowsストアアプリとデスクトップアプリ

Windows 8.1には、「Windowsストアアプリ」と「デスクトップアプリ」の2種類のアプリが搭載されています。

●Windowsストアアプリ

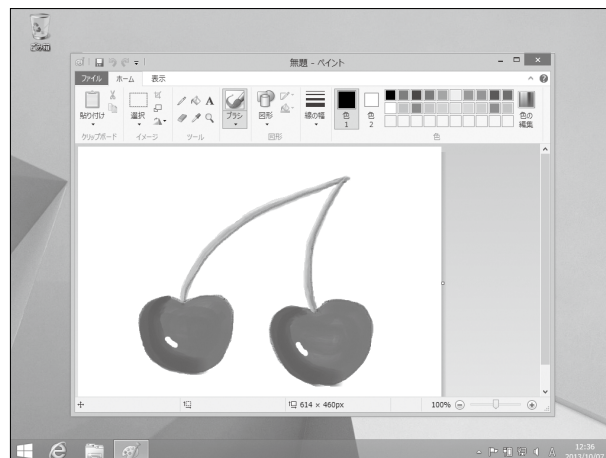
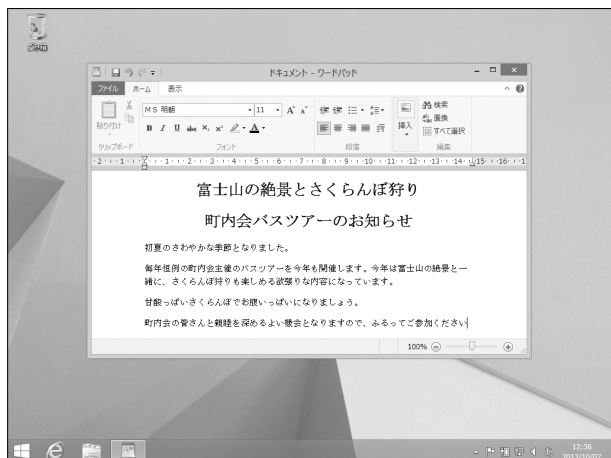
「Windowsストアアプリ」とは、Windows 8から新しく登場したアプリで、以前のWindowsのアプリと画面構成や操作方法が異なります。

Windowsストアアプリは、常に全画面で表示され、シンプルなデザインで統一されています。タッチ操作を前提に開発されたものですが、マウス操作も可能です。



●デスクトップアプリ

「デスクトップアプリ」とは、ウィンドウと呼ばれる四角い枠の中で操作するアプリで、以前のWindowsのアプリと画面構成や操作方法が同じです。デスクトップアプリのウィンドウは、「デスクトップ」と呼ばれる作業領域上で動作し、位置やサイズを作業状況に応じて調整できます。



2 すべてのアプリの表示

スタート画面に表示されるのは、よく使うアプリだけです。
パソコンに入っているすべてのアプリを一覧で表示しましょう。



① スタート画面が表示されていることを確認します。

※表示されていない場合は、を押します。

②   をクリックします。

※表示されていない場合は、マウスを少し動かします。

 画面に指を触れたまま、上方向にスライドします。



Windowsストアアプリ

デスクトップアプリ

すべてのアプリが表示されます。

※通常、左側にWindowsストアアプリ、右側にデスクトップアプリが表示されます。

※次の操作のために、 をクリックまたは  を押してスタート画面を表示しておきましょう。



1

天気の起動

「天気」は、指定した都市の天気を詳しく表示できるアプリで、Windowsストアアプリのひとつです。

天気を起動しましょう。

※インターネットに接続できる環境が必要です。



① スタート画面が表示されていることを確認します。

※表示されていない場合は、を押します。

②  《天気》をクリックします。

 《天気》をタップします。



図のようなメッセージが表示されます。

③  《許可》をクリックします。

 《許可》をタップします。



《地域を指定する》が表示されます。

④ 都市名を入力します。

※ここで指定する地域が天気を起動したときに表示される画面になります。自分の居住地や勤務地など、よく利用する都市名を入力するとよいでしょう。

⑤  《確認する》をクリックします。

 《確認する》をタップします。



《検索結果》が表示されます。

⑥  指定した都市をクリックします。

 指定した都市をタップします。



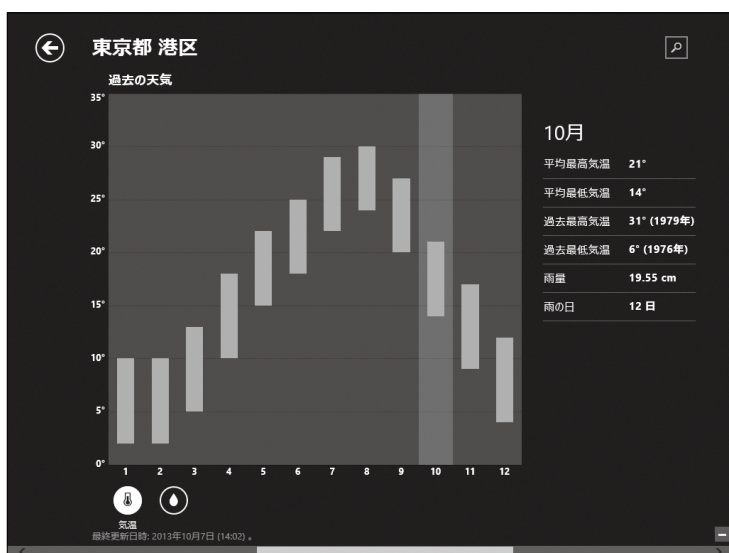
指定した都市の天気予報が表示されます。

2 過去の天気の表示

Windowsストアアプリで、画面をスクロールする方法を確認しましょう。
天気画面をスクロールして、過去の天気を表示しましょう。



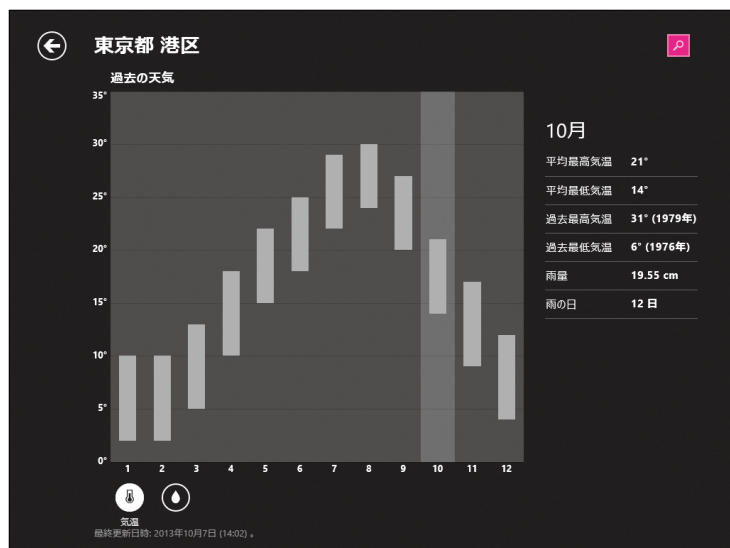
- ①   を数回クリックします。
※表示されていない場合は、マウスを少し動かします。
 画面に指を触れたまま、左方向にスライドします。



画面がスクロールし、過去の天気が表示されます。

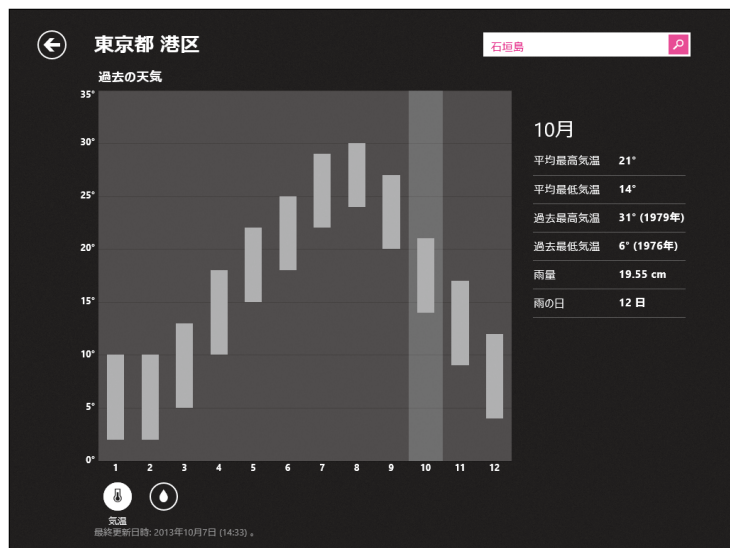
3 別の場所の天気表示

石垣島の天気を表示しましょう。



① をクリックします。

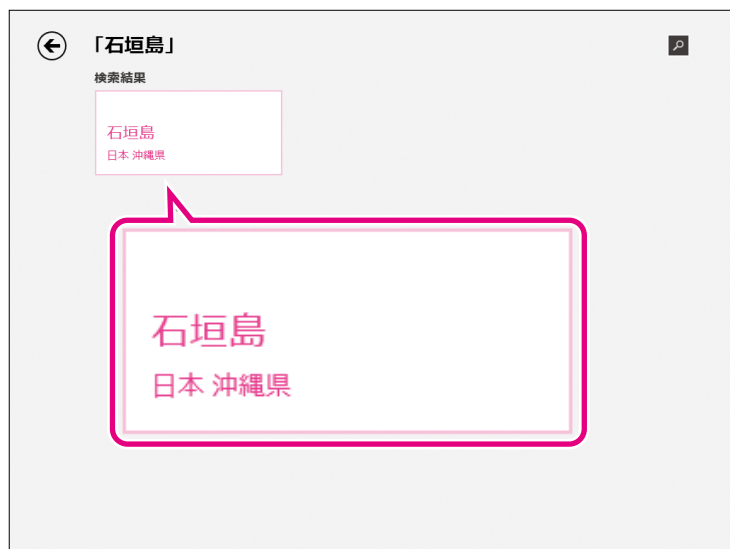
をタップします。



② 「石垣島」と入力します。

③ をクリックします。

をタップします。



《検索結果》が表示されます。

④ 《石垣島 日本 沖縄県》をクリックします。

《石垣島 日本 沖縄県》をタップします。



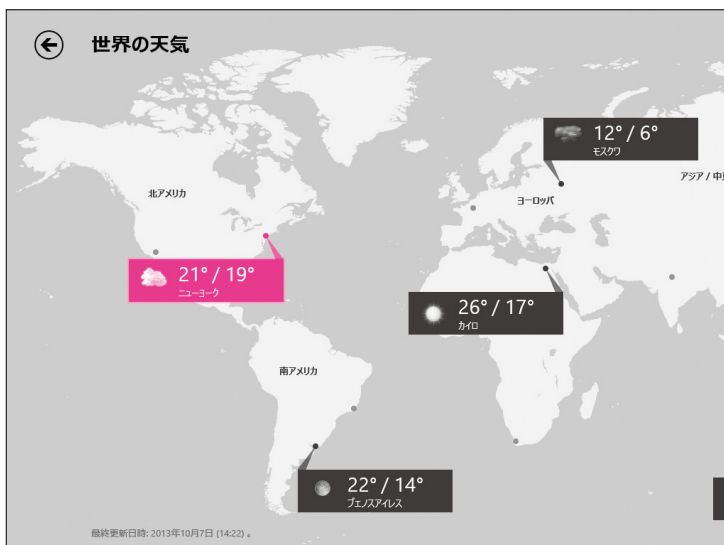
石垣島の天気予報が表示されます。

4 世界の天気の表示

アプリバーを使って、世界の天気を表示しましょう。



- ① 画面を右クリックします。
※マウスポインターの場所はどこでもかまいません。
 画面の下端から上方向にスワイプします。
アプリバーが表示されます。
- ② 《世界の天気》をクリックします。
 《世界の天気》をタップします。



世界の天気が表示されます。

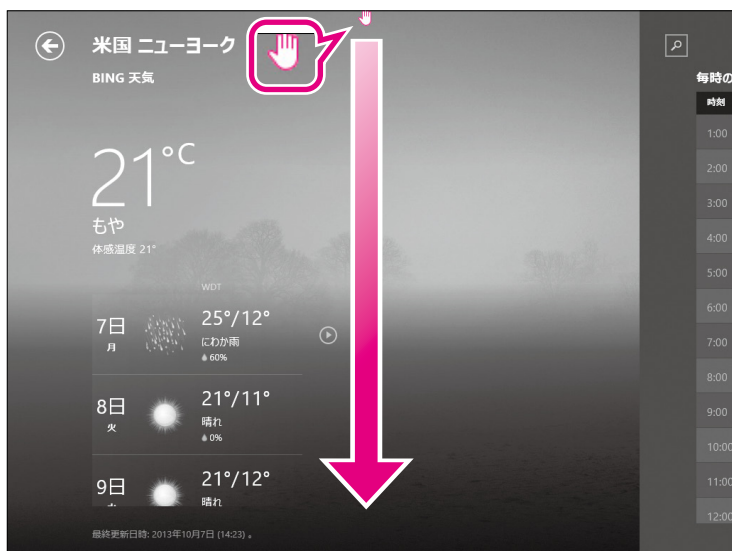
- ③ 任意の都市をクリックします。
 任意の都市をタップします。



選択した都市の天気予報が表示されます。

5 天気の終了

天気を終了しましょう。



- ① 画面の上端をポイントし、マウスポインターの形が  に変わったら、下端までドラッグします。
※ドラッグ中、マウスポインターの形が  に変わります。
-  画面の上端から下端までドラッグします。



天気が終了し、スタート画面が表示されます。

1 ワードパッドの起動

「ワードパッド」は、簡単なレポート作成ができるワープロソフトです。デスクトップアプリのひとつです。ワードパッドを起動しましょう。



① スタート画面が表示されていることを確認します。

※表示されていない場合は、を押します。

② をクリックします。

※表示されていない場合は、マウスを少し動かします。

画面に指を触れたまま、上方向にスライドします。

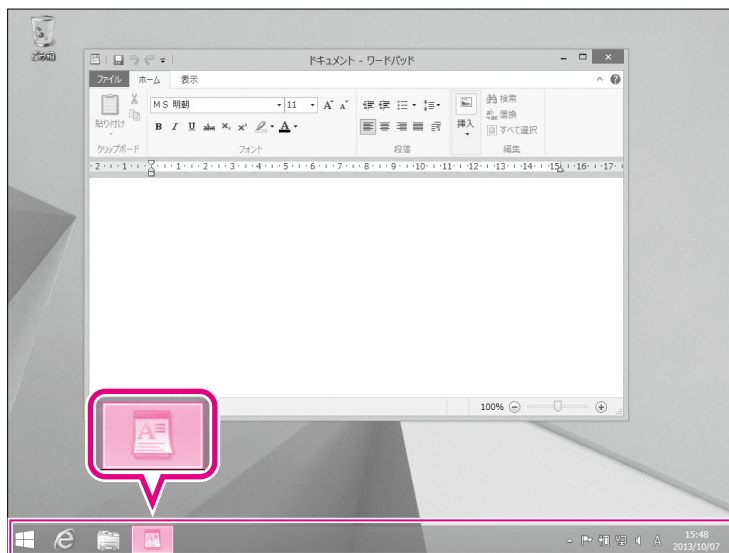


すべてのアプリが表示されます。

③ 《ワードパッド》をクリックします。

《ワードパッド》をタップします。

※表示されていない場合は、画面を右方向にスクロールします。



ワードパッドが起動し、《ワードパッド》ウィンドウが表示されます。

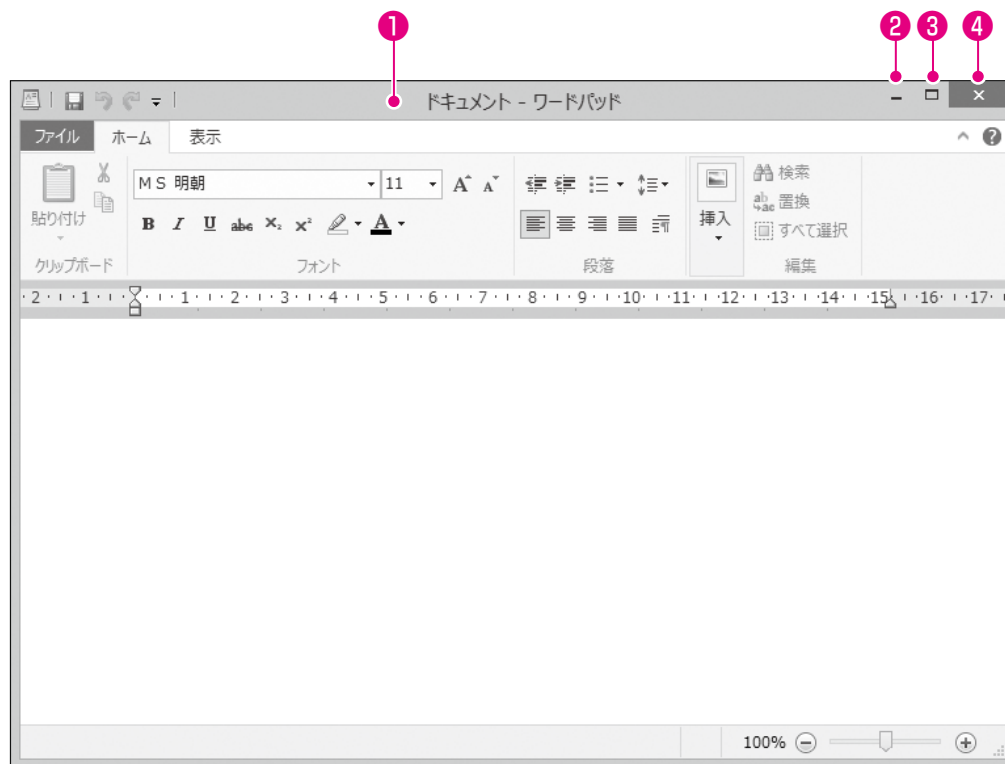
④ 画面下のタスクバーに、ワードパッドのアイコンが表示されていることを確認します。

—タスクバー

2 ウィンドウの各部の名称と役割

起動したデスクトップアプリは、「ウィンドウ」といわれる四角い枠で表示されます。

ウィンドウの各部の名称と役割は、次のとおりです。



① タイトルバー

起動しているアプリや開いているファイルの名前などが表示されます。

② ー (最小化)

ウィンドウが一時的に非表示になります。

※ウィンドウを再表示するには、画面下のタスクバーのアイコンをクリックします。

③ □ (最大化)

ウィンドウが画面全体に大きく表示されます。

※ □ (元に戻す(縮小))

ウィンドウを最大化すると、□ (最大化)から □ (元に戻す(縮小))に切り替わります。クリックすると、ウィンドウを最大化する前のサイズに戻ります。

④ × (閉じる)

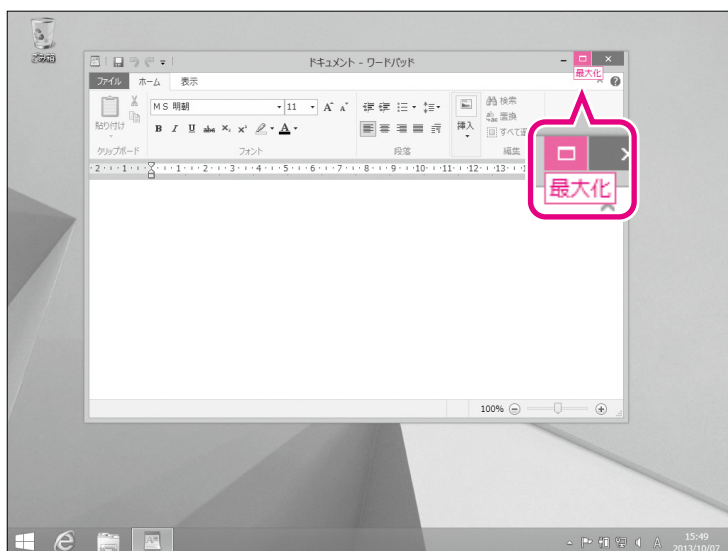
アプリが終了します。

3 ウィンドウの操作

ウィンドウのサイズや位置を調整する方法を確認しましょう。

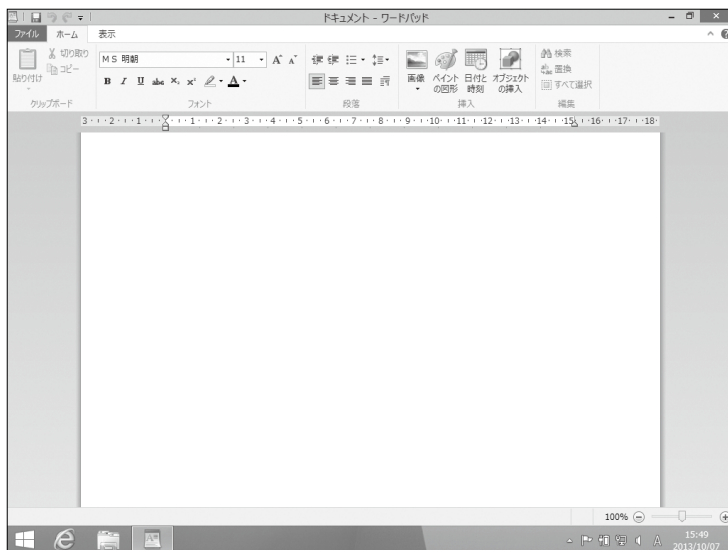
1 ウィンドウの最大化

《ワードパッド》ウィンドウを最大化して、画面全体に大きく表示しましょう。



①   (最大化)をクリックします。

  (最大化)をタップします。

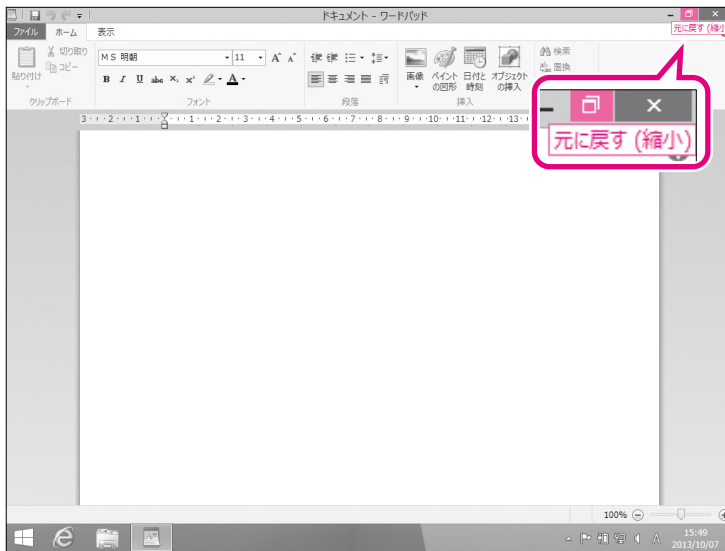


ウィンドウが画面全体に表示されます。

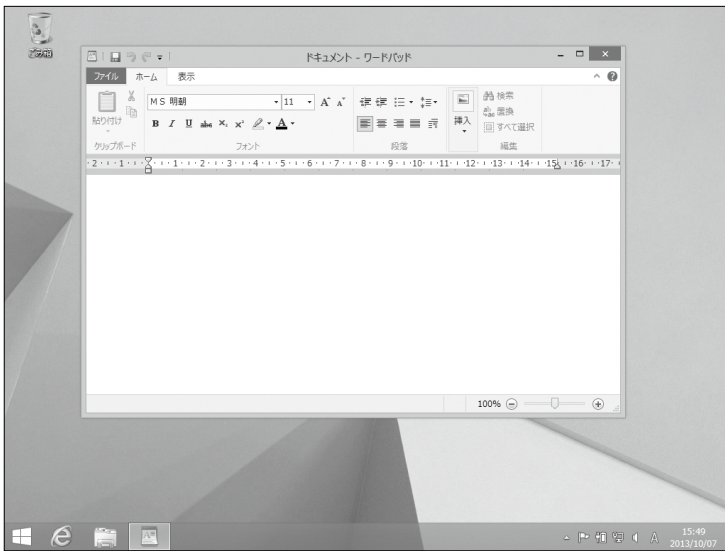
※  (最大化)が  (元に戻す(縮小))に切り替わります。

2 ウィンドウを元に戻す

画面全体に表示されたウィンドウを元のサイズに戻しましょう。



- ①   (元に戻す(縮小))をクリックします。
-   (元に戻す(縮小))をタップします。

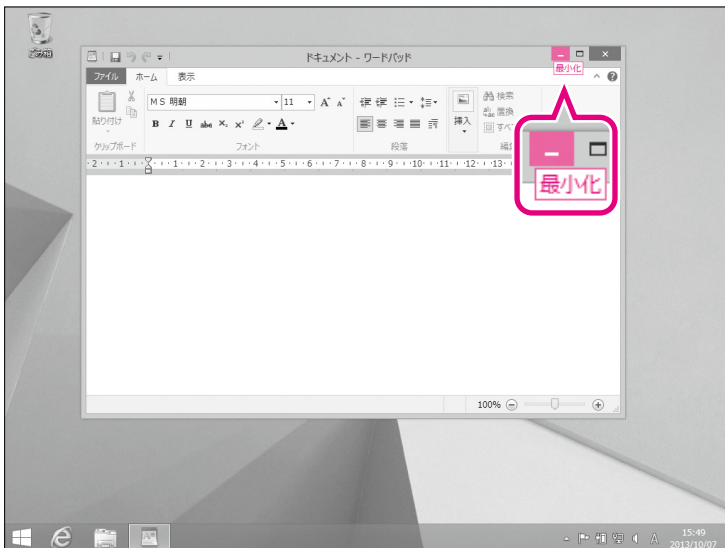


ウィンドウが元のサイズに戻ります。

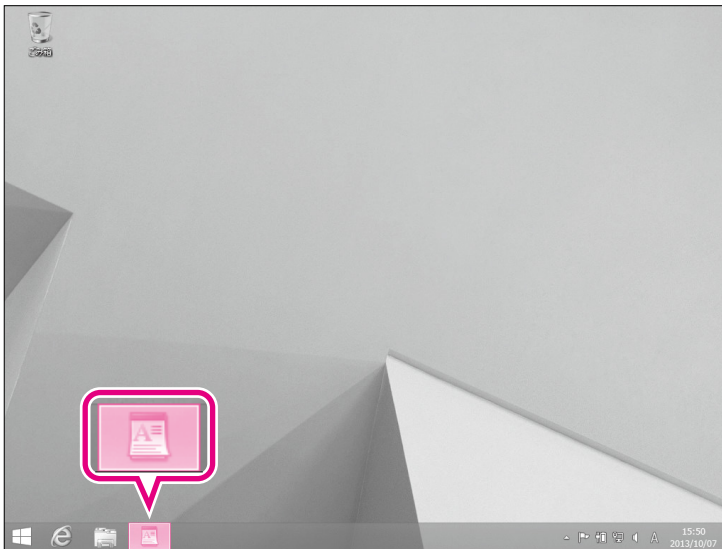
※  (元に戻す(縮小))が  (最大化)に切り替わります。

3 ウィンドウの最小化

《ワードパッド》ウィンドウを一時的に非表示にしましょう。



- ①   (最小化)をクリックします。
-   (最小化)をタップします。



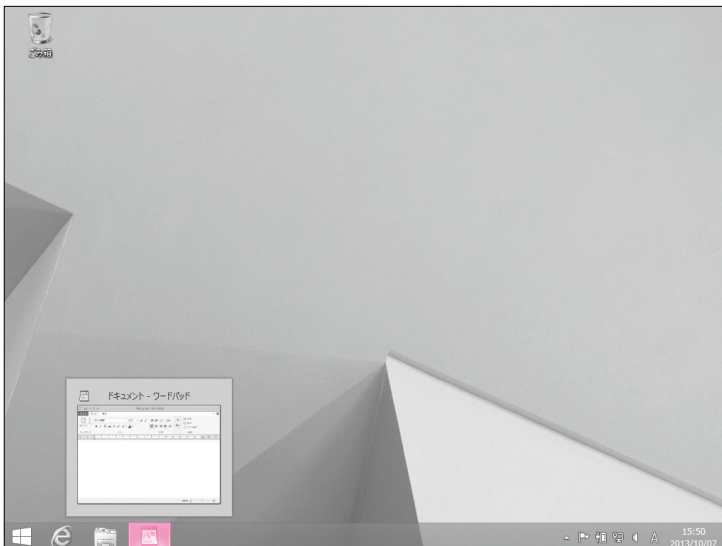
ウィンドウが非表示になり、タスクバーにアイコンで表示されます。

※ウィンドウを最小化しても、アプリは起動しています。

② タスクバーにワードパッドのアイコンが表示されていることを確認します。

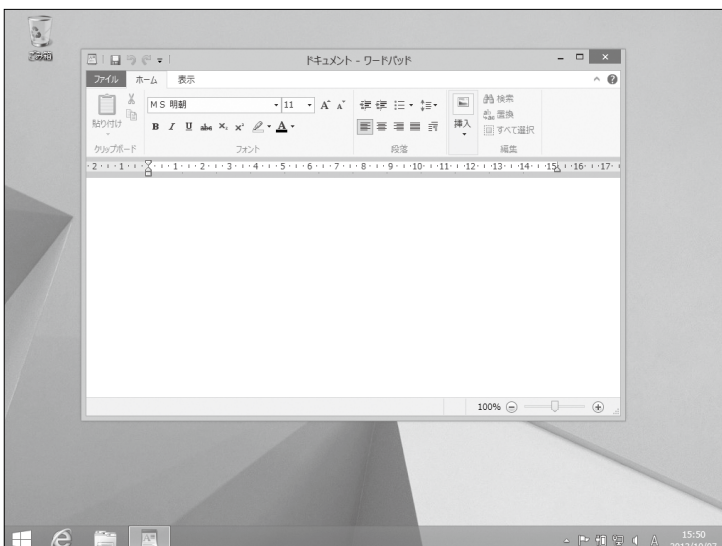
4 ウィンドウの再表示

《ワードパッド》ウィンドウを再表示しましょう。



①  タスクバーの《ワードパッド》をクリックします。

 タスクバーの《ワードパッド》をタップします。

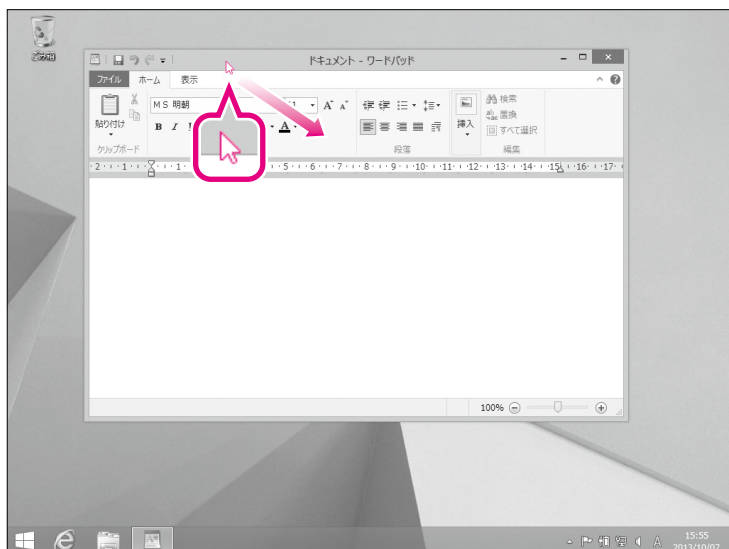


《ワードパッド》ウィンドウが再表示されます。

5 ウィンドウの移動

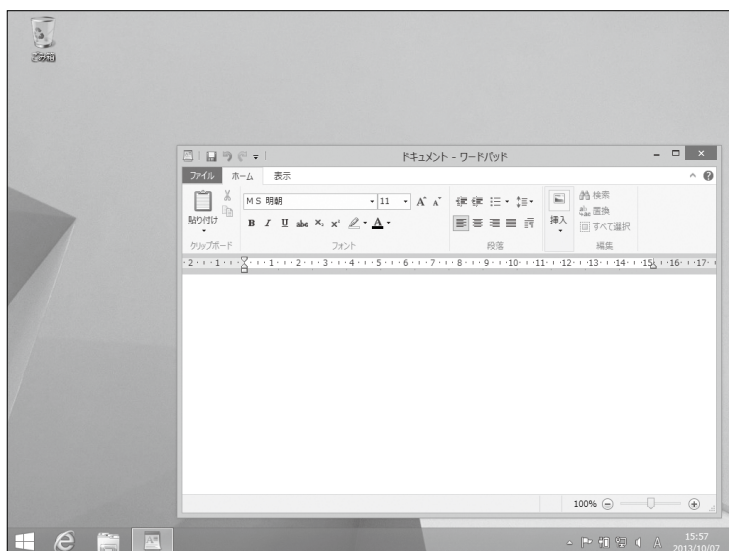
ウィンドウの場所は移動できます。ウィンドウを移動するには、ウィンドウのタイトルバーをドラッグします。

《ワードパッド》ウィンドウを移動しましょう。



①  タイトルバーをポイントし、マウスポインタの形が になったら、図のようにドラッグします。

 タイトルバーに指を触れたまま、図のようにドラッグします。

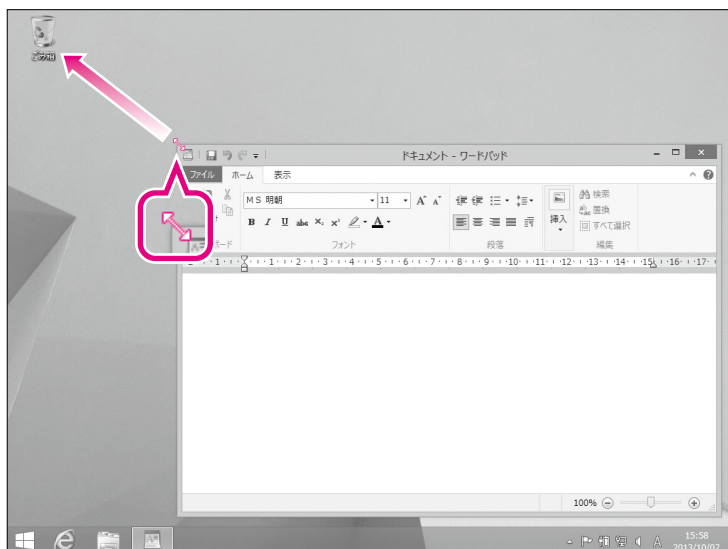


《ワードパッド》ウィンドウが移動します。
※指を離れた時点で、ウィンドウの位置が確定されます。

6 ウィンドウのサイズ変更

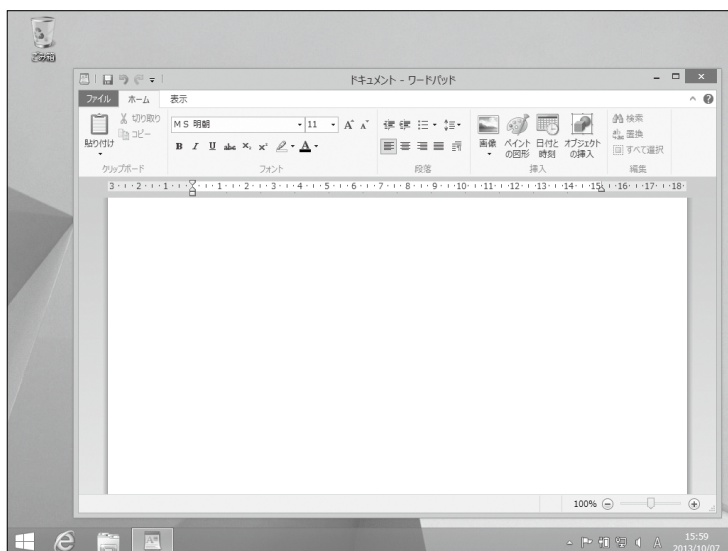
ウィンドウは拡大したり縮小したり、任意のサイズに変更できます。ウィンドウのサイズを変更するには、ウィンドウの周囲の境界線をドラッグします。

《ワードパッド》ウィンドウのサイズを変更しましょう。



①  《ワードパッド》ウィンドウの左上の境界線をポイントし、マウスポインターの形が になったら、図のようにドラッグします。

 《ワードパッド》ウィンドウの左上をタップし、図のようにドラッグします。



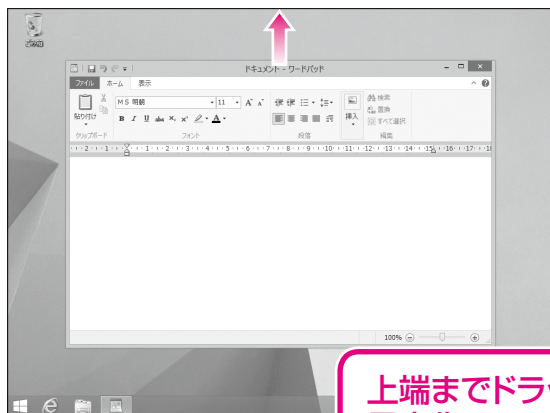
《ワードパッド》ウィンドウのサイズが変更されます。

※指を離れた時点で、ウィンドウのサイズが確定されます。

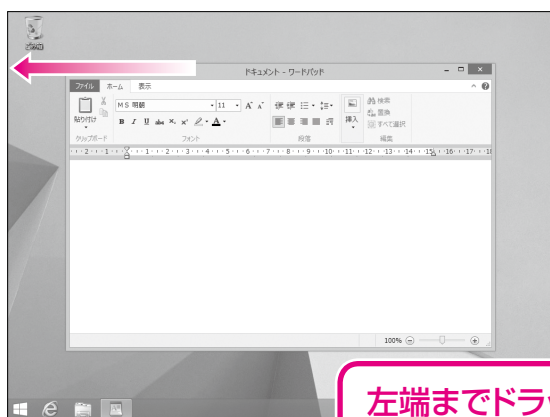
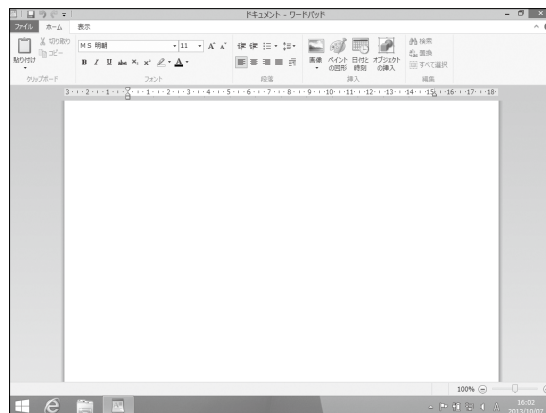


タイトルバーによるウィンドウのサイズ変更

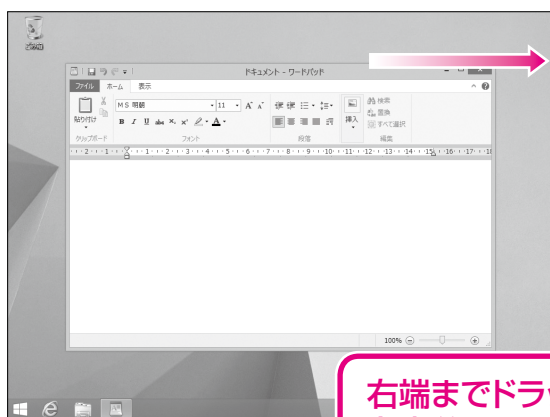
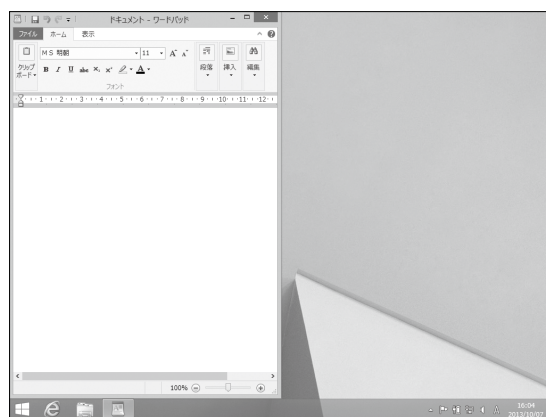
ウィンドウのタイトルバーをドラッグすることで、ウィンドウのサイズを変更することもできます。



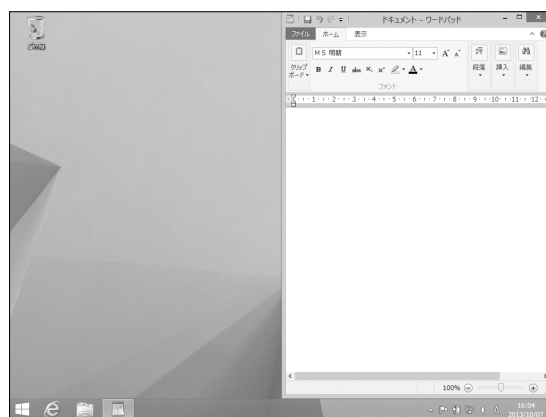
上端までドラッグすると、
最大化する



左端までドラッグすると、
左半分のサイズになる

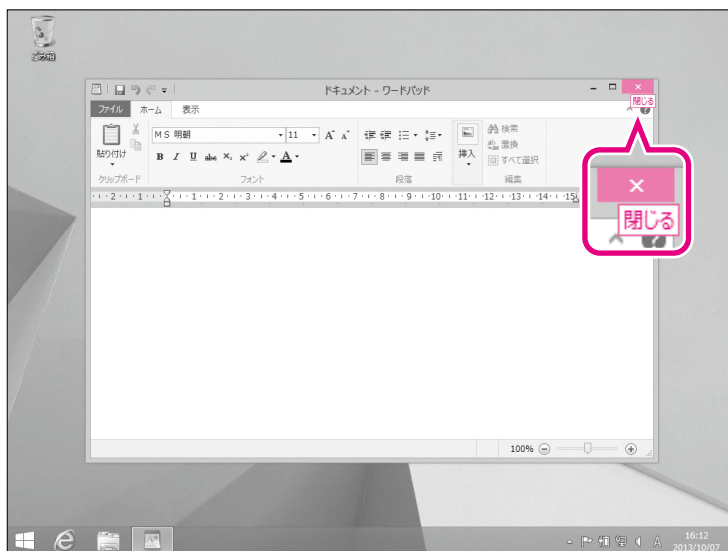


右端までドラッグすると、
右半分のサイズになる

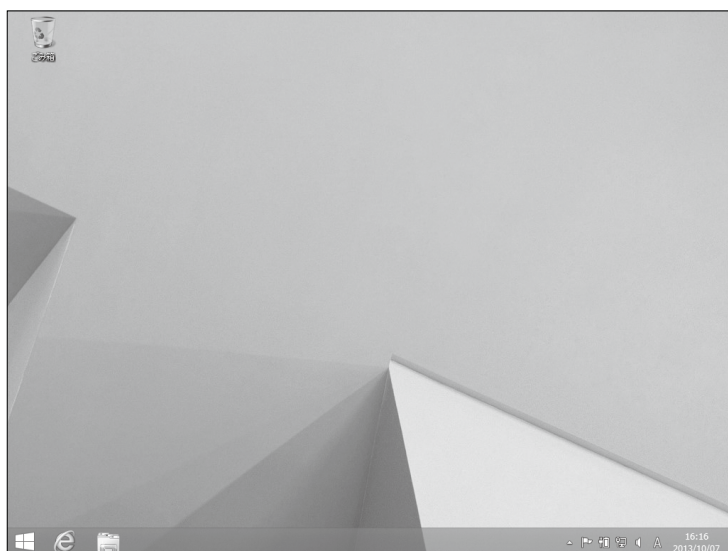


4 ワードパッドの終了

ウィンドウを閉じると、デスクトップアプリが終了します。
ワードパッドを終了しましょう。



- ①   (閉じる)をクリックします。
  (閉じる)をタップします。



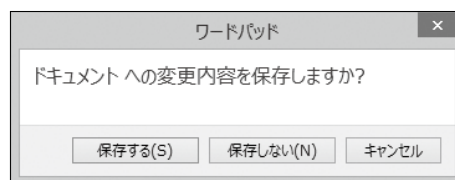
ワードパッドが終了し、デスクトップが表示されます。

- ② タスクバーからワードパッドのアイコンが消えていることを確認します。

POINT ▶▶▶

終了時のメッセージ

ワードパッドで作成した文書を保存せずに終了しようとする、保存するかどうかを確認するメッセージが表示されます。保存する場合は《保存する》、保存しない場合は《保存しない》を選択します。



POINT ▶▶▶

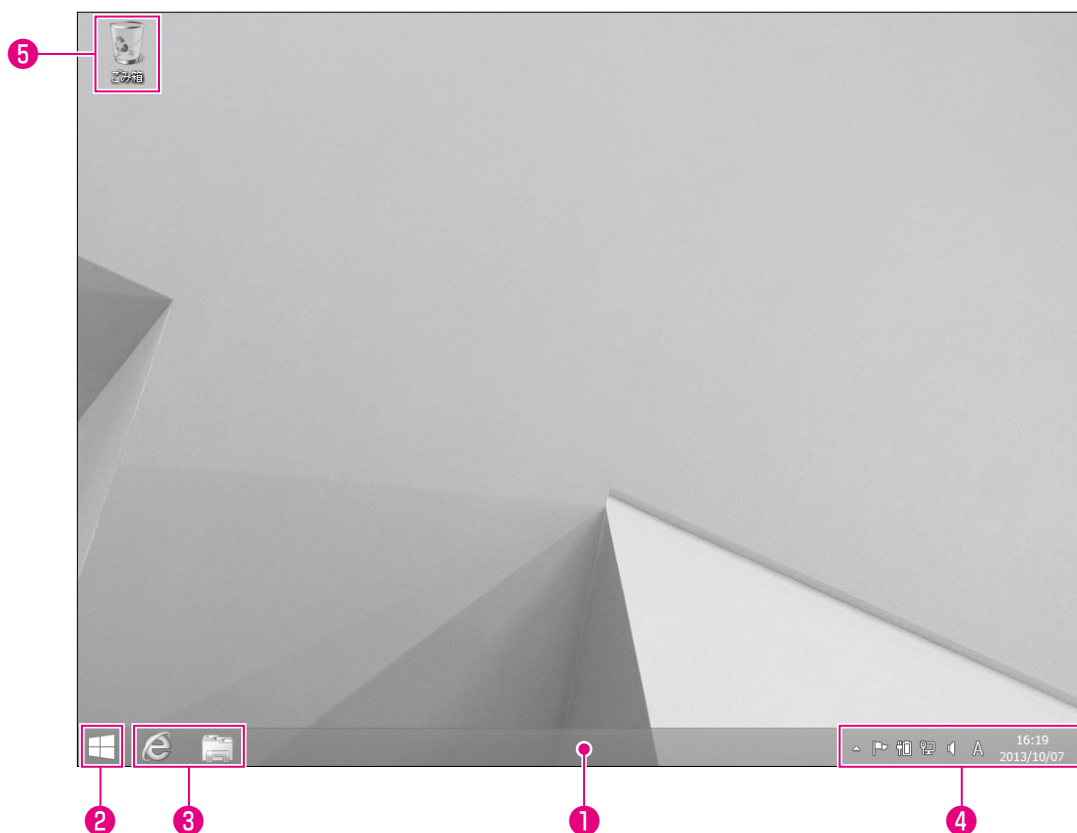
— (最小化)と (閉じる)の違い

— (最小化)をクリックすると、一時的にウィンドウを非表示にし、タスクバーにアイコンで表示されますが、デスクトップアプリは起動しています。それに対して  (閉じる)をクリックすると、ウィンドウが閉じられるだけでなく、デスクトップアプリも終了します。作業しないデスクトップアプリは、 (閉じる)で終了します。

5 デスクトップの各部の名称と役割

デスクトップアプリは、「デスクトップ」と呼ばれる作業領域の上で動作します。デスクトップアプリは終了したら、すぐにはスタート画面に戻らずに、いったんデスクトップの表示になります。

デスクトップの各部の名称と役割は、次のとおりです。



①タスクバー

実行中のアプリや開いているフォルダーがアイコンとして表示されます。

②スタートボタン

スタート画面を表示します。

③クイック起動アイコン

よく使うアプリをアイコンとして登録できます。初期の状態では、 (Internet Explorer)と (エクスプローラー)が登録されています。

④通知領域

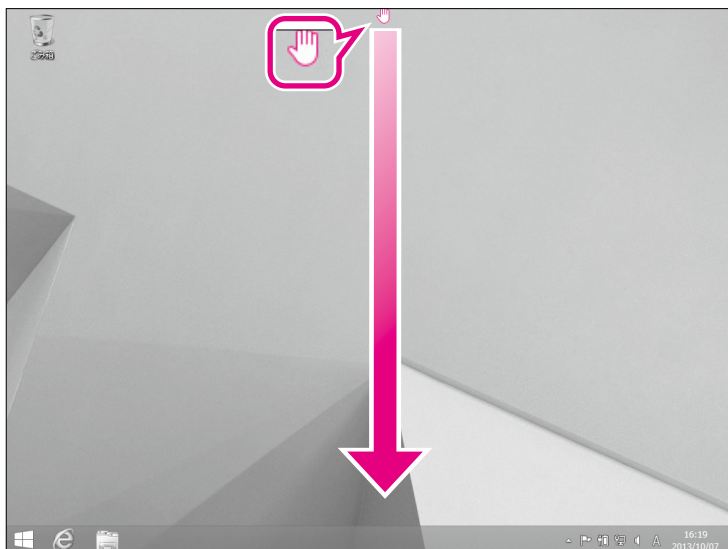
本日の日付と現在の時刻などが表示されます。設定内容や監視状況のアイコンも表示されます。

⑤ごみ箱

不要になったファイルやフォルダーを一時的に保管する場所です。ごみ箱から削除すると、パソコンから完全に削除されます。

❖ 6 デスクトップの終了

デスクトップは、Windowsストアアプリと同様の操作方法で終了します。
デスクトップを終了しましょう。



- ①  画面の上端をポイントし、マウスポインターの形が  に変わったら、下端までドラッグします。
※ドラッグ中、マウスポインターの形が  に変わります。
-  画面の上端から下端までドラッグします。



デスクトップが終了し、スタート画面が表示されます。

1 Windows 8.1の終了

パソコンでの作業を終わることを「終了」といいます。

Windowsの作業を終了し、パソコンの電源を完全に切るには、「シャットダウン」を実行します。

Windows 8.1を終了し、パソコンの電源を切りましょう。



① スタート画面が表示されていることを確認します。

※表示されていない場合は、を押します。

②  画面の右上隅または右下隅をポイントします。

 画面の右端から左方向にスワイプします。

チャームバーが表示されます。

③  《設定》をクリックします。

 《設定》をタップします。



④  《電源》をクリックします。

 《電源》をタップします。

⑤  《シャットダウン》をクリックします。

 《シャットダウン》をタップします。

パソコンの電源が切れます。

POINT ▶▶▶

スリープ

シャットダウンは、パソコンの電源を完全に切るため、次回のパソコンの起動に少し時間がかかります。起動時の待ち時間を短くしたい場合は、「スリープ」を使います。

スリープは、すぐに作業を再開できるように、パソコンの電源を切らずに省電力の状態になります。次に電源を入れると、すばやくWindowsを起動できます。

◆チャームバーを表示→《設定》→《電源》→《スリープ》

初心者シリーズ Windows 8.1の基礎知識

2013年10月 初版発行

著作／制作：富士通エフ・オー・エム株式会社

発行所：エフオーエムFOM出版（富士通エフ・オー・エム株式会社）
〒105-6891 東京都港区海岸1-16-1 ニューピア竹芝サウスタワー

-
- Microsoft Corporationのガイドラインに従って画面写真を使用しています。
 - Microsoft、Excel、PowerPoint、Internet Explorer、Windowsは、米国Microsoft Corporationの米国およびその他の国における登録商標または商標です。
 - その他、記載されている会社および製品などの名称は、各社の登録商標または商標です。
 - 本冊子は、構成・文章・データなどのすべてにおいて、著作権法上の保護を受けています。本冊子の一部あるいは全部について、いかなる方法においても複写・複製など、著作権法上で規定された権利を侵害する行為を行うことは禁じられています。
 - 本冊子に記載された内容などは、予告なく変更される場合があります。
-